

校内研究

研究テーマ

挑戦的・創造的に学び合う生徒の育成

「挑戦」と「創造」の往還を意識した授業づくり

① 課題の必要性を実感し、粘り強く取り組む。

④ 学んだことを振り返り、できるようになったことや新たな疑問、問いを今後の学習に生かそうとする。



② 既有的知識、既習の経験をもとに、見方・考え方を働かせながら、自力解決を図る。

③ 学び合いを通して、自分緒考えと他者の考えを比較しながら、よりよい解決方法を見いだす。

上記①～④の各場面において、教師は学習のコーディネーターとして、生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす。

- ・ 必要に応じた重点的な指導や教材等の工夫
- ・ 一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供
- ・ 多様な学び合いの機会の提供
- ・ 生徒の学習成果（作文、作品、レポート等）を、学びのポートフォリオとして蓄積
- ・ ICTの効果的な活用

目指す生徒像

- (1) 自ら学びに向かい、既有的知識や経験をもとに、課題解決の見通しを持つことができる生徒
- (2) 仲間との学び合いを通して、一人一人の思考を様々な視点から比較・分類・統合したり関連付けたりすることによって、よりよい解決方法を判断したりその内容を表現したりしようとする生徒
- (3) 学んだことやできるようになったことを振り返り、新たな問いや課題を発見したり今後の学習や生活の中で活用したりすることによって、新たな学びに向かう生徒

生徒を育てる日々の授業

天童一中の学習スローガン

「友に学び、共に学ぼう！」